

第1章 計画の改訂にあたって

1 計画改訂の趣旨

読書は、人生をより豊かに生きる力を身に付けていく上で欠かすことのできないものです。特に子どもにとっては、言葉を学び、感性や表現力を高め、創造力を育むなど、成長していく過程でとても重要な役割を果たしてくれるものとなります。

国は、平成13年に、子どもの読書活動に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、読書を通じて子どもの健やかな成長に資することを目的として、「子どもの読書活動の推進に関する法律」を制定し、同法第9条第2項で、市町村は子ども読書活動推進計画を策定するよう努めなければならないことと規定しました。

本市では、平成23年4月に「尾張旭市子ども読書活動推進計画」（以下「原計画」という。）を策定、平成29年度にこれまでの一連の取組から得た成果を検証し、「尾張旭市子ども読書活動推進計画（改訂版）」（以下「改訂計画」という。）を策定しました。

しかしながら、近年の情報通信技術（ICT）の進展とともに、子どもの生活環境が変化し、インターネットを介した多種多様な情報を、スマートフォンやタブレット端末を用いて子どもでも容易に入手できるようになりました。また、学校生活以外で自分の時間を十分に持てない子どもが増え、読書時間の減少化が懸念されるところです。

国は平成30年4月に第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」、愛知県は平成31年2月に「愛知県子供読書活動推進計画（第四次）」を策定しました。本市においても、子どもの読書活動を更に推進し、子どもの心を豊かに育むため、改訂計画を見直し、「尾張旭市子ども読書活動推進計画（改訂2版）」（以下「本計画」という。）を策定します。

2 本計画の対象

この計画の対象は、18歳以下の者とします。また、この計画を推進する者は、保護者、教職員及び図書館職員をはじめ、子どもの読書活動の推進に関わる全ての者とします。

3 本計画の期間

本計画の期間は、令和4年度から令和8年度までの5年間とします。

第2章 改訂計画期間における取組の成果と現状

令和2年度の目標達成状況やアンケートによる結果を検証し、取組の成果や現状について確認します。

1 基本目標1 家庭、地域及び学校における子どもの読書活動の推進

(1) 家庭における子どもの読書活動の推進

ア 目標の達成状況

内 容	H27年度実績	H30年度実績	R元年度実績	R2年度実績	R3年度目標値	目標達成率※
ブックスタート事業参加率	93.0%	95.5%	96.6%	97.5%	93.5%	104.3%
0～12歳の館外貸出券の登録率	19.5%	21.0%	20.8%	20.4%	21.5%	94.9%

<参考>

家庭での読み聞かせ実施率（週2,3回以上、3歳児健診参加者へのアンケート調査より）	46.8%	調査未実施		40.6%	50.0%	81.2%
---	-------	-------	--	-------	-------	-------

※ 目標達成率は、令和3年度目標値に対する令和2年度実績の割合を示します。

イ 取組の成果と現状

ブックスタート事業は6～7か月児を対象とした健康相談時に行います。令和2年度は感染症対策のため健康相談が中止となる期間がありましたが、保健師が個別訪問や面接をして、絵本を介して親子が心を通わせるブックスタートの意義を伝えていきます。しかしながら、配付された絵本が親子のふれあいのきっかけ作りに「役に立った」「どちらかというと役に立った」と答えた割合は、年々減少しています。家庭での読み聞かせ実施率についても、平成27年度に比べ減少しています。

また、インターネットやスマートフォン等の普及に伴い、幼少期から動画、電子図書等の利用が身近なものとなっています。

(2) 図書館における子どもの読書活動の推進

ア 目標の達成状況

内 容	H27 年度 実績	H30 年度 実績	R 元年度 実績	R2 年度 実績	R3 年度 目標値	目標 達成率
0～18歳の年間貸出点数 (点)	160,687	140,416	131,943	122,113	162,000	75.4%
内、中学・高校生 (13～18歳) (点)	30,655	10,788	10,633	10,819	31,100	34.9%
おはなし会年間参加者数 (人)	2,470	2,380	2,433	199	2,550	7.8%
あさびーこども読書通帳配布冊数 (冊) (H26年7月開始)	838	1,393	1,349	1,182	900	131.3%

イ 取組の成果と現状

0～18歳の年間貸出点数は、年々減少傾向にあります。特に中学・高校生の貸出点数は、27年度から30年度にかけて約7割減少し、以降横ばいです。

コロナ禍において、おはなし会の開催回数が減少したことに伴い、おはなし会年間参加者数は大幅に減少しました。図書館では、「おうちで読もう」をスローガンとして呼びかけたり、家庭で郷土のむかしばなしにふれられるよう、おはなし動画「あさひのむかしばなし」を作成し、インターネット配信を行っています。

あさびーこども読書通帳配布冊数は、目標値を上回っています。

令和2・3年度には、市制50周年・図書館開館40周年記念事業として、絵本作家による読書奨励講座のほか、様々な読書奨励事業を行いました。

(3) 地域における子どもの読書活動の推進

ア 目標の達成状況

内 容	H27 年度 実績	H30 年度 実績	R 元年度 実績	R2 年度 実績	R3 年度 目標値	目標 達成率
児童館でのおはなし会(※)の実施回数(回)	69	185	72	60	100	60.0%

※ 読み聞かせを合わせた事業を含む

イ 取組の成果と現状

各児童館においても子どもが楽しめるよう、工夫をしながらおはなし会を実施しています。特に平成30年度は、複数の児童館においてボランティアによるおはなし会が活発に行われました。

(4) 保育園、幼稚園における子どもの読書活動の推進

ア 目標の達成状況

内 容	H27年度実績	H30年度実績	R元年度実績	R2年度実績	R3年度目標値	目標達成率
保育園において週1回以上読み聞かせ(※)を行っている割合	—	100%	100%	100%	60.0%	166.7%

※ 読み聞かせを合わせた事業を含む

イ 取組の成果と現状

保育園等では、職員によるおはなし会や、読み聞かせを合わせた行事などが日常的に行われています。

コロナ禍にあっても、各園において3密(密集・密接・密閉)を回避するなどの感染対策を講じた上で、子どもたちに読み手の表情が分かるように透明なフェイスシールドを使用するなど、多くの園で、ほぼ毎日、工夫をしながら読み聞かせを行い、子どもが読書に興味を持つきっかけとなっています。

(5) 学校における子どもの読書活動の推進

ア 目標の達成状況

内 容	H27年度実績	H30年度実績	R元年度実績	R2年度実績	R3年度目標値	目標達成率
学校図書館の平均貸出点数(点/月)	7,404	7,890	7,752	6,454	7,420	87.0%
読書感想文コンクール参加率(小学生)	21.3%	22.9%	16.8%	8.7%	22.0%	39.5%
読書感想文コンクール参加率(中学生)	45.7%	46.1%	30.7%	35.5%	46.0%	77.1%

イ 取組の成果と現状

学校では、読書週間の開催や、図書ボランティアによるおはなし会、ポップ作成によるおすすめ本の紹介など、児童及び生徒が読書に興味を持つきっかけ作りを行っています。年間を通して朝の読書タイム等を実施している学校もあります。

小学生のコンクールの参加率は、減少傾向にあります。

2 基本目標 2 子どもの読書環境の整備、充実

(1) 図書館の整備、充実

ア 図書館の整備、充実

内 容	H27 年度実績	H30 年度実績	R 元年度実績	R2 年度実績	R3 年度目標値	目標達成率
児童書蔵書点数 (点)	68,475	73,411	74,188	76,166	68,700	110.9%
中学・高校生 (13～18 歳) の貸出点数 (点)	30,655	10,788	10,633	10,819	31,000	34.9%

イ 取組の成果と現状

図書館の書架の増設等や、配架方法の工夫、整理を行うことで、収容能力を高め、蔵書内容の充実を図っています。

また、感染症対策として3密回避の徹底を図るため、空気環境の整備や館内のレイアウトを変更などを実施しています。

平成27年度と比べると、中学・高校生の貸出点数は大きく減少していますが、図書館の全ての年代の貸出点数に占める割合は、ほぼ横ばいとなっています。

(2) 地域における図書室等の整備と充実

ア 目標の達成状況

内 容	H27 年度実績	H30 年度実績	R 元年度実績	R2 年度実績	R3 年度目標値	目標達成率
児童館における児童書蔵書点数 (点)	17,783	17,933	18,030	17,126	18,000	95.1%
図書館の団体貸出利用登録館数 (地域の施設)	33 館	33 館	16 館	16 館	35 館	45.7%

イ 取組の成果と現状

各児童館においては、令和2年度に蔵書内容の見直しのため、除籍作業が行われたため、児童書の蔵書点数が減少しました。

また、図書館の団体貸出利用登録館数は、令和元年度に館外貸出券の更新に合わせて見直しを行ったため、登録館数が減少しました。

(3) 保育園や幼稚園の図書コーナー等の整備と充実

ア 目標の達成状況

内 容	H27年度 実績	H30年度 実績	R元年度 実績	R2年度 実績	R3年度 目標値	目標 達成率
図書館の団体貸出利用登録園数（保育園、幼稚園）	10園	12園	13園	14園	11園	127.3%

イ 取組の成果と現状

市内の保育所の設置数が増え、図書館の団体貸出利用登録園は増加しています。

一部の園においては、図書館の大型紙芝居やパネルシアター等を使用して、季節の行事等を行っています。

(4) 学校図書館の整備と充実

ア 目標の達成状況

内 容	H27年度 実績	H30年度 実績	R元年度 実績	R2年度 実績	R3年度 目標値	目標 達成率
蔵書点数 （小学校9校） （点）	113,219	113,745	111,951	111,937	114,000	98.2%
蔵書点数 （中学校3校） （点）	48,522	50,682	47,163	47,780	49,000	97.5%
「学校図書館 図書標準」未 達成校数	1校	1校	2校	2校	0校	未達成

イ 取組の成果と現状

学校では、計画期間内に全校が学校図書館システムの更新、蔵書内容の精査、除籍作業を実施しました。その結果、令和2年度に蔵書点数が減少したこと等により2校が「学校図書館図書標準」未達成校となりました。

学校図書館では、保護者やボランティア等の協力を得ながら、図書の整備・充実が行われています。児童生徒が調べ学習にインターネット端末を利用できる環境も整いました。

(5) 図書館と学校図書館や地域の図書室等との連携の推進

ア 目標の達成状況

内 容	H27 年 度実績	H30 年 度実績	R 元 年 度実績	R2 年 度 実績	R3 年 度 目標値	目標 達成率
学校図書館、地域の図書室等（地域の施設）への図書館の団体貸出点数（点）	16,327	7,765	5,606	2,607	16,500	15.8%

イ 取組の成果と現状

図書館は、市内の小・中学校に対し、調べ学習支援を行っています。

令和元年度からは、図書館職員による調べ学習支援資料の配送の試行を実施するなど、連携の充実を図ってきました。

児童館、子育て支援センター、保育園等へは大型紙芝居やパネルシアター等の団体貸出しを行っており、感染症対策のための臨時休館中には、各児童館と連携し、図書館司書のおすすめ本の団体貸出しを行いました。

地域の施設の図書室等の蔵書については、図書館の除籍資料を優先的に譲渡し、充実を図っています。

新池交流館ふらっと及びスカイワードあさひへの団体貸出点数が大幅に減少したことに伴い、全体の貸出点数は減少しています。

3 基本目標 3 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及

(1) 「子ども読書の日」等における読書の啓発事業の推進

取組の成果と現状

「子ども読書の日」の関連事業として、大型紙芝居やエプロンシアターなどを使った読み聞かせの実施、図書館司書のおすすめ本を入れた「おたのしみ袋」の貸出し等、子どもたちが本を読む楽しさに触れられるような催し物を行っています。

(2) 各種情報の共有等

取組の成果と現状

図書館は、公共図書館学校図書館連絡会や尾張旭市立図書館協議会を

設置し、市内の学校のほか、各公共施設等と情報共有しています。

また、図書館のサービス内容や催し物の案内等について、誰もが容易に情報を得られるよう、図書館だよりをはじめ、市ホームページ、市広報誌、ケーブルテレビ等を通じて情報提供に努めています。

(3) 優れた読書推進活動や優良図書の奨励

取組の成果と現状

図書館は、読み聞かせのボランティアをはじめ、読書活動に関するボランティアの活動内容について、市ホームページなどで紹介します。また、市の表彰事業によりボランティア活動の奨励を行い、ボランティアの更なる意欲向上に結び付けています。

また、図書館では、「よい絵本」のコーナーの常時設置や、「青少年によい本をすすめる県民運動」の特集コーナーにより、優良図書を推奨しています。

4 基本目標4 子どもの読書活動推進体制の整備、充実

(1) 推進体制の整備

取組の成果と現状

図書館では職員の専門研修への参加や、ボランティアのスキルアップにつながる講座の充実など、人材育成を行っています。図書館、学校、ボランティア等が、それぞれの役割に応じて子ども読書活動の充実に向けて取り組んでいます。

5 現状からみた課題

家庭をはじめ、社会全体における読書を推進することにより、子どもが読書を好きな気持ちを育むとともに、発達段階に応じた読書習慣の定着と、読書時間を確保できる環境を作る取組など、子どもの読書活動の促進が必要となっています。

また、友人同士で行う活動を通じ、読書への関心を高める取組の充実及び促進が望まれます。

(1) 家庭

幼少期の子どもにとって、家庭における読み聞かせが大切であることや、家庭での読書習慣を身に付けることの重要性を、より多くの保護者に伝える必要があります。

(2) 図書館・地域

図書館には、子どもの様々なニーズに応え、積極的に利用される魅力ある図書館運営が望まれます。

図書館、保育園、児童館等で、感染症対策を講じた上でおはなし会等を数多く実施し、子どもが読み聞かせや読書の楽しさに触れる場を増やす必要があります。読み聞かせ等、読書に関するボランティアの活性化と資質向上が望まれます。

(3) 学校図書館

多忙化する子どもの生活の中で、子どもにとって最も身近な学校図書館は、子どもたちに積極的に利用されるよう、図書や情報の充実や読書環境の整備を行う必要があります。

(4) 学校等と図書館の連携

図書館は、読書奨励事業に関する情報共有や、学校での調べ学習や読書活動に対する提案など、人的ネットワークづくりを推進することが望まれます。

(5) 関係機関・団体の連携・協力

子どもの読書活動に関わるボランティアや関係団体に対して情報提供や情報交換を行う等、連携・協力を図る必要があります。

第3章 本計画の基本方針と基本目標

1 基本方針

読書を通じて 子どもの心を豊かに育みます

(1) 子どもが読書に親しむ環境の整備と充実

子どもが自主的に本を読むようになるためには、乳幼児期から本に親しむ環境が整っていることが大切です。

このため、乳幼児期から子どもが本に興味を持ち、読書に親しめる環境の整備や充実を進め、家庭、地域及び学校を通じて読書に親しむ機会の提供に努めます。

(2) 社会全体での子どもの読書活動の推進

子どもの自主的な読書活動を推進するためには、家庭、地域及び学校等、社会全体の支援が必要です。また、子どもの読書活動に携わる者がそれぞれ担うべき役割を意識し、相互に連携、協力することが大切です。

このため、関係機関の連携、協力を強めるなど、子どもの読書活動を推進するために必要な体制の整備に努めます。

(3) 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及

子どもが自主的、積極的に読書活動を行うためには、その意義や重要性について、市民の理解と関心を深めることが重要です。

このため、保護者、教職員及び図書館職員をはじめ、子どもに関わる全ての大人に理解と関心を持ってもらえるよう読書活動の意義の普及に努めます。

2 基本目標

上記の基本方針に従い、子どもの読書活動を推進していくために4つの基本目標を掲げ、これを達成するため本市の実情を踏まえた方向性を示します。

基本目標1 家庭、地域及び学校等における子どもの読書活動の推進

- (1) 家庭における子どもの読書活動の推進
- (2) 図書館における子どもの読書活動の推進
- (3) 地域における子どもの読書活動の推進
- (4) 保育園や幼稚園における子どもの読書活動の推進

- (5) 学校における子どもの読書活動の推進

基本目標 2 子どもの読書環境の整備と充実

- (1) 図書館の整備と充実
- (2) 地域における図書室等の整備と充実
- (3) 保育園や幼稚園の図書コーナー等の整備と充実
- (4) 学校図書館の整備と充実
- (5) 図書館と学校図書館や地域の図書室等との連携の推進

基本目標 3 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及

- (1) 「子ども読書の日」等における読書の啓発事業の推進
- (2) 各種情報の共有等
- (3) 優れた読書推進活動や優良図書の奨励

基本目標 4 子どもの読書活動推進体制の整備と充実

- (1) 推進体制の整備

第4章 推進のための取組

基本目標を推進するため、目標ごとに取組を示します。

本計画の最終年度となる令和8年度の目標値については、第2章において確認した現状及び各目標値の達成状況から、新型コロナウイルス感染症の影響を受け始める前の平成30年度実績まで戻すこととします。

1 基本目標1 家庭、地域及び学校等における子どもの読書活動の推進

(1) 家庭における子どもの読書活動の推進

ア ブックスタート事業の実施

6～7か月児を対象とした健康相談時に、本市在住の全ての赤ちゃんの保護者に絵本を手渡し、絵本を通じて家族のコミュニケーションを促すブックスタート事業を実施し、乳児期から本に親しむ環境づくりを支援します。また、相談当日に参加できなかった方には、個別訪問等により絵本の入ったブックスタートセットを直接届けます。

イ 家庭での読書の推進

保護者等を対象に、子育て支援センター等が行う子育て支援関係講座等で、家庭における読書活動が進むよう様々な機関が連携・協力し、必要な支援を行います。

ウ 図書館の館外貸出券の登録

家庭で多くの本に接し、ゆっくりと、又、何度でも楽しめるよう、図書館の館外貸出券の作成と「おうちで読書」の周知をします。

目標値

内 容	R元年度 実 績	R2年度 実 績	R8年度 目標値
ブックスタート事業参加率	96.6%	97.5%	98.5%
0～12歳までの館外貸出券の登録率	20.8%	20.4%	21.5%

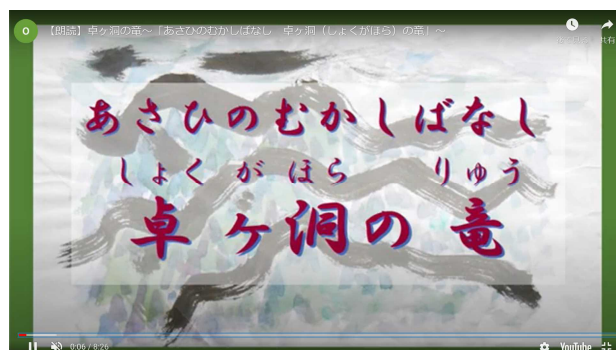
(2) 図書館における子どもの読書活動の推進

ア 子どもの利用促進事業の充実

「おはなし会」「赤ちゃんからのおはなし会」等の子ども向け事業について感染症対策を講じた上で実施回数を増やしたり、おはなし動画「あさひのむかしばなし」をインターネット配信したりするなど、子ども向け事業の充実を図るとともに、市広報誌・ホームページ等を利用して事業の周知を図り、図書館利用の増加を目指します。



ボランティアによる図書館での読み聞かせ



おはなし動画「あさひのむかしばなし」

イ 特集コーナーの展示等

子どもの好奇心に働きかけるようなテーマを決め、関連する本を集めて展示及び貸出しし、子どもの読書活動を支援します。

ウ 読書通帳の配布

読書や読み聞かせの履歴を残すことができる、「あさひこども読書通帳」の配布により乳幼児から小学生まで、「読書通帳」の配布により中学生以上の読書意欲の向上に努めます。

「あさびーこども読書通帳」については、1冊目の通帳が満了になった方には記念品を進呈し、読書への興味や関心が継続するよう2冊目以降の通帳を配布します。

また、読書通帳の10冊目、50冊目到達者を表彰し、子どものさらなる読書意欲を高めます。



あさびーこども読書通帳

エ 読書に関するコンクールの実施

読書感想文コンクールや読書感想画コンクール等を開催することにより、読書活動を推進するとともに、優れた作品を表彰し、読書の奨励を図ります。各コンクールの課題図書や、読書感想文の書き方に関する本を集めて特集コーナーを設置し、市内の小・中学校と連携するなど、読書意欲の向上と参加者の増大を図ります。

オ 読書奨励講座の開催

幼い時期からの読書活動が、子どもの健やかな成長に影響を与えることを保護者に知ってもらうとともに、図書館や児童館等で行われている地域のボランティア活動への参加を促します。



絵本作家による読書奨励講座

カ ボランティアの養成と団体の育成

現在ボランティア活動をおこなっている方のスキルアップに役立つ講座の実施や活動の場を提供するなどして、ボランティアを養成し、団体の育成を図ります。

キ 「心の居場所」としての機能の配慮

子どものストレスの高まりや、行き場のない気持ちを和らげる「心の居場所」としての機能を配慮します。

図書館司書によるおすすめ本の特集コーナーの設置や、装飾などによる読書環境づくりや、おはなしのへやなどの温もりのある空間づくりに努めます。

ク 図書館の新着図書案内サービス

新しく図書館の蔵書となった本などの情報を、図書館のホームページにアクセスすることでスムーズに得ることができます。その情報を予約サービスにつなげ、更なる図書館の利用拡大を図ります。

目標値

内 容	R元年度 実績	R2年度 実績	R8年度 目標値
0～18歳の年間貸出点数	131,943点	122,113点	162,000点
うち、中学・高校生（13～18歳）の 年間貸出点数	10,633点	10,819点	31,100点
おはなし会年間参加者数	2,433人	199人	2,550人
あさぴーこども読書通帳配布冊数	1,349冊	1,182冊	1,400冊

(3) 地域における子どもの読書活動の推進

ア 読書活動の推進

地域の施設が児童館だよりやすくすぐカレンダーなどを活用して、図書室等の利用や読書活動に関する事業への参加を呼びかけます。

イ 子どもの読書の啓発

地域の施設がボランティア団体等と協力して本の読み聞かせ会等を実施し、保護者等に読書の重要性を呼びかけます。

ウ 図書館の団体貸出しの利用

図書館が、地域で活動するボランティア団体に図書等の団体貸出しを行い、子どもの読書活動の推進に協力します。

エ ボランティア活動の促進と学習機会の提供

ボランティア活動の場を作るとともに、新しいボランティアの発掘や既存ボランティアのスキルアップを図ります。

目標値

内 容	R 元年度 実 績	R2 年度 実 績	R8 年度 目標値
児童館でのおはなし会(読み聞かせを合わせた事業も含む)の実施回数	72 回	60 回	100 回

(4) 保育園や幼稚園における子どもの読書活動の推進

ア 本に親しみやすい環境づくり

図書コーナー等を充実させ、子どもの身近に絵本があり、自由に手に取って読める環境づくりに努めます。

イ 読み聞かせの実施

ボランティアの協力により、絵本や紙芝居の読み聞かせを積極的に行い、読書に親しむきっかけ作りに努めます。

ウ 図書館の団体貸出しの利用

図書館が、保育園や幼稚園に図書等の団体貸出しを行い、子どもの読書活動の推進に協力します。

エ 保護者等への子どもの読書活動の啓発

保育士や幼稚園教諭は、保護者等に子どもが興味のある絵本や読書に関する情報を園だより等で提供し、子どもの読書活動の啓発に努めます。

オ 保育士や幼稚園教諭の読書指導の充実

子どもの読書活動に携わる保育士や幼稚園教諭は、子どもの読書の推進に関する研修会等に参加し、読書指導の充実に努めます。

目標値

内 容	R 元年度 実 績	R2 年度 実 績	R8 年度 目標値
保育園等における図書館団体貸出点数（点）	491	1,353	1,800

(5) 学校における子どもの読書活動の推進

ア 読書習慣の育成

図書ボランティアによるおはなし会、読書週間の読み聞かせ会をはじめとした様々な事業を実施し、子どもたちの読書習慣を育成します。

イ 読書案内の充実

子どもによるポップ及びブックガイドの作成によるお薦め本の紹介や、ブックトークなどを行い、子どもが読書に興味を持つきっかけを作ります。

ウ 調べ学習の促進

授業の中で調べ学習を積極的に取り入れ、学校図書館の利用促進を図ります。

エ 図書館の団体貸出しの利用

学校図書館や学級は団体貸出しを利用し、調べ学習や子どもの読書活動を推進します。

オ 読書感想文コンクールや読書感想画コンクールへの参加の促進

図書館と協力して実施している読書感想文コンクール、読書感想画コンクールへの参加を促進します。

カ 読書指導の充実

司書教諭、教職員、図書ボランティア等は、子どもの読書の推進に関する研修会等に参加し、読書指導の充実に努めます。

キ 「心の居場所」としての機能の充実

子どもが生き生きと学校生活を送れるよう、また、子どものストレスの高まりや児童・生徒の生活指導上の諸問題に対応するため、「心の居場所」としての機能の充実に努めます。

目標値

内 容	R 元年度 実 績	R2 年度 実 績	R8 年度 目標値
学校図書館の貸出点数 (平均点/月)	7,752 点/月	6,454 点/月	7,890 点/月
読書感想文コンクール 参加率 (小学生)	16.8%	8.7%	22.0%
読書感想文コンクール 参加率 (中学校)	30.7%	35.5%	46.0%

2 基本目標 2 子どもの読書環境の整備と充実

(1) 図書館の整備と充実

ア 図書館の整備と充実

様々な年齢に応じた図書の整備と充実に努め、必要に応じて複本を揃えるなどして、子どもや保護者等が多くの本に出会えるように努めます。

イ 楽しく読書ができる施設の整備

子どもが楽しく読書ができるよう、児童コーナーやおはなしのへやの配架方法や図書館家具の工夫に努めます。



図書館のあかちゃんの本のコーナー



図書館のおはなしのへや

ウ レファレンスサービスの充実

子どもや保護者からの読書相談や、調べ学習の支援等のレファレンスサービスの充実に努めます。

エ 情報提供の充実

市ホームページ、広報あさひ、図書館だより「ひまわり」、ブックリスト、地域メディア等を活用し、催し物の案内やお薦め本の紹介等を行うことにより、子どもの本に関する様々な情報の提供に努めます。

オ ティーンズコーナーの充実

子どもから大人への成長期である中学・高校生の読書環境の整備や充実を図り、読書活動を推進するため、ティーンズコーナーの充実に努めます。

また、ティーンズによるおすすめ本紹介をポップ形式で展示します。



ポップの展示によるおすすめ本の紹介

カ 障がいのある子どもを対象としたサービスの充実

点字付き絵本、バリアフリー絵本やCD等の録音図書の収集、整備に努め、障がいのある子どもへのサービスの充実に努めます。



点字付き絵本、バリアフリー絵本

目標値

内 容	R 元年度 実 績	R2 年度 実 績	R8 年度 目標値
児童書蔵書点数	74,188 点	76,166 点	78,000 点
中学・高校生（13～18 歳）の年間貸出点数	10,633 点	10,819 点	31,100 点

(2) 地域における図書室等の整備と充実

ア 図書の整備と充実

図書の充実を図るため、図書館が提供するブックリストを参考に購入したり、地域住民等からの寄附・寄贈、また図書館のリサイクル本を譲り受けたりするなど、様々な方法で図書を受け入れて整備します。

イ 図書館の団体貸出しの利用

地域の施設が、団体貸出しを利用したり、図書館のリサイクル本を譲り受けたりするなど図書の充実を図ります。

ウ 親しみやすい雰囲気づくり

季節に合わせて、図書の展示や子ども向けの飾り付け等を行い、子どもにとって親しみやすい雰囲気づくりに努めます。

目標値

内 容	R 元年度 実 績	R2 年度 実 績	R8 年度 目標値
児童館における児童書蔵書点数	18,030 点	17,126 点	18,500 点
図書館の団体貸出利用登録館数(地域の施設)	14 館	16 館	22 館

(3) 保育園や幼稚園の図書コーナー等の整備と充実

ア 図書の整備と充実

図書の充実を図るため、図書館が提供するブックリストを参考に購入したり、地域住民からの寄附・寄贈、また図書館のリサイクル本を譲り受けたりするなど、様々な方法で図書を受け入れて整備します。

イ 図書館の団体貸出しの利用

保育園や幼稚園は、団体貸出しを利用し、子どもへの図書の提供内容の充実を図ります。

ウ 子育て図書室の設置

保育園に地域の未就園児を対象とした「子育て図書室」を設置し、絵本等に親しむ機会を増やします。

目標値

内 容	R 元年度 実 績	R2 年度 実 績	R8 年度 目標値
図書館団体貸出利用登録園数(保育園、幼稚園)	13 園	14 園	20 園

(4) 学校図書館の整備と充実

ア 計画的な図書の整備と充実

子どもの積極的な読書活動や調べ学習に対応できるよう、図書館が提供するブックリストを参考に購入したり、寄附・寄贈、図書館のリサイクル本を譲り受けたりするなど、様々な方法で計画的に図書を整備します。

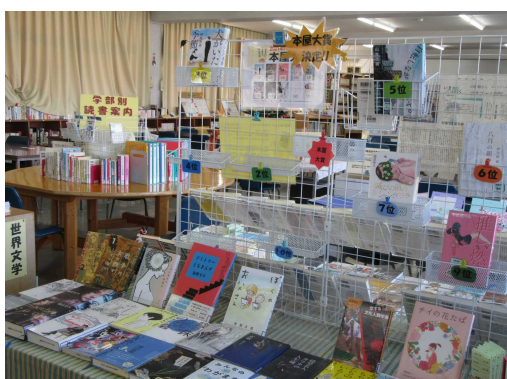
また、市内各中学校及び高校に向けて、図書館司書がお薦めする新着図書の紹介を行います。

イ 図書館の団体貸出しの利用

図書館が学校図書館に団体貸出しを行い、図書の実充に協力します。

ウ 読書環境の整備

教職員や図書委員がボランティアと協力し、ポップやブックガイドの作成や、子どもがいつでも楽しく読書活動ができる環境づくりに努めます。また、図書の分類や配架の工夫、本の紹介コーナーの実充に努めます。



旭野高等学校図書室

目標値

内 容	R 元年度 実 績	R2 年度 実 績	R8 年度 目標値
蔵書点数（小学校 9 校）	111,951 点	111,937 点	114,000 点
蔵書点数（中学校 3 校）	47,163 点	47,780 点	49,000 点
学校図書館図書標準未達成校数	2 校	2 校	0 校

(5) 図書館と学校図書館や地域の図書室等との連携の推進

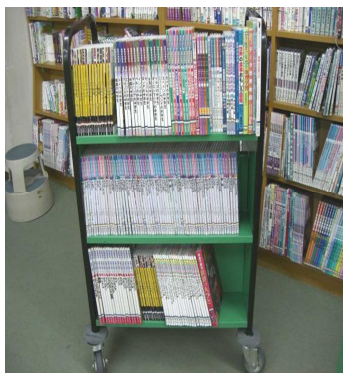
ア 情報交換

図書館、学校図書館、地域の図書室等が、優良図書、催し物等の情報交換を積極的に行い、子どもの読書環境の実充に努めます。

また、図書館司書が学校図書館を訪問し、現状を把握した上で、分類表示、特集展示、除籍などの相談に応じます。

イ 調べ学習に対する支援

図書館は、学校が行う調べ学習に対して必要な図書を貸し出し、調べ学習を支援します。また、図書館職員による配送を継続します。



図書館の調べ学習用図書

ウ 図書館見学の受入れ等

図書館は、学校が授業の一環として行う図書館見学を受け入れ、利用方法、図書の探し方、ICTの利用を併せた図書館のスマートな利活用方法、利用マナーの学習等に協力します。また、図書館職員による出前講座を行います。



小学校3年生図書館見学の様子

エ 地域の図書室等への読書推進活動への協力

図書館は、図書室等が行う催し物に対して必要な図書を貸し出します。

目標値

内 容	R 元年度 実 績	R2 年度 実 績	R8 年度 目標値
学校図書館、地域の図書室等（地域の施設）への図書館の団体貸出点数	5,606 点	2,607 点	6,000 点

オ 地区公民館等取次事業

図書館は、8つの地区公民館（宮浦公民館を除く）及び東部市民センター、新池交流館ふらっとにおいて、予約資料の配送及び返却資料の回収を行い、利用者の利便性向上を図ります。図書館まで足が運べない方（交通弱者等）へ向けて、自宅等のインターネット端末から在館予約ができるサービスを行います。

カ ボランティア活動の支援

図書館は、学生ボランティアの受入れ、ボランティアのスキルアップにつながる講座の開催、ボランティアに対する各種講座の紹介、職員出前講座の実施等を行ったりすることで、読み聞かせボランティア等の活動を支援します。

3 基本目標3 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及

(1) 「子ども読書の日」等における読書の啓発事業の推進

ア 家庭への周知

図書館や学校等は、家庭での読み聞かせの機会を増やすため、「子ども読書の日」等を、市広報誌、市ホームページ、図書館だより「ひまわり」等で積極的に周知し、子どもの読書への理解と関心を高めます。

イ 図書館での催しの開催

図書館で、「子ども読書の日」等に合わせ様々な催しを開催し、子どもの読書への関心向上に努めます。

ウ 学校での催しの開催

学校は、春と秋に行っている読書週間等で様々な催しを開催し、「子ども読書の日」等を積極的に周知し、子どもや教職員、保護者等へ子どもの読書への関心向上に努めます。

エ 図書館、学校及び地域の施設等の連携

子どもの読書に関する様々な催しの開催にあたり、図書館、学校及び地域の施設等が連携し、「子ども読書の日」等の周知を行い、子どもの読書への理解と関心の向上に努めます。



図書館のこどもの読書週間事業

(2) 各種情報の共有等

ア 図書館、学校、地域の施設及び関係担当部署等の情報共有

図書館、学校、地域の施設及び関係担当部署等は連携し、お薦め本のリストや催し物の案内など、各種情報の共有に努めます。

イ 市広報誌・ホームページ等での情報提供

図書館、学校、地域の施設及び関係担当部署等は、誰もが容易に情報を知ることができるよう、市広報誌・ホームページ等での情報提供に努めます。



あさぴー子ども読書通帳関連広報・ポスター等

ウ 地域メディアを使った情報提供

ケーブルテレビやコミュニティ放送局、地域紙での情報提供に努めます。

(3) 優れた読書推進活動や優良図書の奨励

ア 優れた取組の奨励

読書活動に関するボランティア団体等の活動を把握し、市ホームページ等で紹介し、国等の表彰事業に協力し活動を奨励します。

イ 優良図書の推奨

図書館は、子どもの成長段階に合わせた優良図書のコーナーを常時設け、子どもたちが楽しみながら自主的に図書に触れられるよう、閲覧及び貸出しします。

4 基本目標 4 子どもの読書活動推進体制の整備と充実

(1) 推進体制の整備

ア 交流会等の開催

地域の施設の職員やボランティアの交流会等を開催し、積極的に情報交換を行います。

イ 研修会等への参加

地域の施設の職員やボランティアは、県が開催する「愛知県子ども読書活動推進大会」やその他の研修会等に参加し、他市町村の子どもの読書活動の推進に関する情報を収集し、本計画の推進に協力します。

ウ 本計画の進行管理

本計画の進行管理は、尾張旭市立図書館が行います。